

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容を P R!!!

- サービス向上への3ステップ -
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取り組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

- 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職 員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

溝辺ともの家

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏 名

田嶋 優子

評価完了日

平成 19 年 5 月 1 日

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19年 6月 15日

【評価実施概要】

事業所番号	3890100120		
法人名	社会福祉法人ワーカーズ'コレクション' とも		
事業所名	溝辺ともの家		
所在地	松山市溝辺町甲 1 1 9 - 1 (電話) 089-977-8522		
管理者	田嶋優子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目 5 - 1 9 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年5月10日	評価確定日	平成19年6月15日

【情報提供票より】 (平成19年5月7日 事業所記入)

(1)組織概要				
開設年月日		平成12年7月1日		
ユニット数		1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数		7 人	常勤	7人, 非常勤 2人, 常勤換算 7.4人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)				
家賃(平均月額)		35,000・33,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷 金		有 (0 円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)		(有)(100,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	(有) / 無
食材料費	朝食	200 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	0 円
	または1日当たり 1,000 円			
(3)利用者の概要 (平成19年5月7日現在)				
利用者人数		9 名	男性 1 名	女性 8 名
要介護 1		2 名	要介護 2	1 名
要介護 3		1 名	要介護 4	2 名
要介護 5		3 名	要支援 2	0 名
年齢	平均	84 歳	最低	80 歳
			最高	100 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算				
指定	(あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定	あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出	あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算	(あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

- 法人の他施設で地域の方達とともにロビー展を開催し、利用者、小学生の子供達の絵画を展示された。
- 職員は、利用者個々の状態を把握し食事の支度をする際にもさりげなく寄り添い支援しておられた。
- 調査訪問時の昼食後、利用者の方が、ご自分の手指を消毒され、食器拭きをされていた。それを見ておられた他の利用者が同じようにされて一緒に片づけをされていた。
- 調査訪問時、ボランティアの方とともに生け花教室が開かれていた。利用者が自発的にその花をトイレや二階の休息スペースに飾っておられる様子がうかがえた。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)

・入浴することに対して羞恥心のある方には、歌を歌いながら入浴していただいたり、しんどいと言われる方や入浴のお嫌いな方には足湯等もすすめておられる。

▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)

・自己評価作成にあたっては、職員で項目を分け取り組まれた。事業所の今後の取り組み等も明確にされている。

▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)

・民生委員の方からの提案もあり、認知症のことをさらに知っていただけるよう講演会が開催された。今後も継続して行っていく計画もされている。

▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)

・すべての職員がご家族からの相談を受けられるような体制が作られている。ご家族の代表者が家族からの意見をまとめてくださるようになっている。

▼ 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)

・回覧板をまわす際に、近所の方とおしゃべりをする等、利用者が近所の方と直接関係作りができるよう支援されている。地域の小学校から運動会の招待状を頂き、見学に行かれた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 開設から7年がたち、地域にグループホームとして認知されてきており、法人理念も職員に十分に浸透してきたと思われるが、さらに地域密着型サービスとして、地域とのかかわりを大切にしたい暮らしの継続を本年度の目標として年間計画にもりこんでいる。		
			(外部評価) 「いかに障害が重くとも、人は人間としての尊厳を保障され生きる権利がある」という事業所の理念について、便り等を通じて地域に向けて発信し、地域の方達が理解を深められるよう取り組まれている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 職員の採用時には必ず理念を伝え継続研修をしている。理念の日々の具体化として“援助のチェックポイント”を作成して各職員が持ち、振り返りをしている。“援助のチェックポイント”も、職員が主体的に見直ししている。		
			(外部評価) 理念を居間の入り口に明示されている。理念を具体化し作成された「援助のチェックポイント」で、職員は個々に、理念に沿ったケアを日々行っているかということをチェックしておられる。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) ご家族や地域の方にともの家だよりを配布し、取り組みの状況や目指すもの、地域での役割等を理解してもらう努力をしている。行事等も案内し、参加していただいている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩や公園、買い物等に出かけた時は挨拶をかわしたり入居者の方に回覧板を回していただいたりとふれあいの場を多く取るようにしている。又、近所の産直野菜売り場などに出かけ多くの人と触れ合っている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の行事、活動に参加し、交流に努めている。定期的な地区展を始めバザーなどの開催、夏祭り、秋祭り、町内清掃、ゴミ置き場の清掃、小学校の運動会などに参加し交流している。又、近所の小学生が遊びに来たり中学校の教育の一環として交流している。		中学生との交流ではホームに来ていただいているのでこれからはこちらの方から学校に出向き、昔の入居者の方の生活など色々なお話を遊びなどを紹介していきたいと計画している。
			(外部評価) 回覧板をまわす際に、近所の方とおしゃべりをする等、利用者が、近所の方と直接関係作りができるよう支援されている。地域の小学校から運動会の招待状を頂き、見学に行かれた。地域の方達とともにロビー展を開催し、利用者、小学生の子供達の絵画を展示された。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) ヘルパ-実習生の受入を定期的に行い。地域住民の方にも認知症や健康講話の勉強を開催している。		認知症や健康講話の勉強会ではとても良かったとの事も多く聞かれ、もっとこういう事を継続していくよう計画をたてている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 毎年度の評価結果と会議などで見直し日々改善に努めている。又市の実施指導なども振り返り改善に努めている。		
			(外部評価) 自己評価作成にあたっては、職員で項目を分け取り組まれた。事業所の今後の取り組み等も明確にされている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)		
			二ヶ月に一度開催し、情報交換などをして、入居者の方の生活を知っていただいたり、他の運営推進会議で 取り上げられたことなどを参考にし実践につなげている。		
			(外部評価)		
			民生委員の方からの提案もあり、認知症のことをさらに 知っていただけるよう講演会が開催された。今後も 継続して行っていく計画もされている。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			生活保護受給者担当などの事の担当者の方に一ヶ月ご との生活の様子などを送付し、ホーム内の生活や自立 支援などを知っていただいている。		
			(外部評価)		
			市の生活保護課の担当者とのかわりがある。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
			成年後見制度や地域福祉権利擁護事業について学ぶ機 会をもち、概略は理解できている。		成年後見制度を利用する必要があるのか、関係者と話 し合いたいと思っているケースがある。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			職員会議や研修会等で勉強し、絶対にあってはならな いことと、職員間で周知している。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○ 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約を結ぶ時も勿論の事、常に御家族とコミュニケーションを計り、理解、納得を図っている。入居者におこりうるリスクなど十分な説明をしている。		
13		○ 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見や不満、苦情などいつでも表せる柔軟な姿勢をとり、意見が出た時はすぐに会議を持ち運営に反映させるようにしている。		
14	7	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 家族が来訪した時は勿論の事、毎月御家族に暮らしぶりや健康状態など、生活の様子として手紙で報告している。金銭管理面では個人の出納帳を作り、領収証など保管し、家族が来訪した際に残高確認をし、押印やサインをしていただき信用を得ている。		
			(外部評価) ご家族の来訪時に、ご本人の暮らしぶりについてお話をされたり、手紙等でも伝えておられる。職員の異動時には、担当者がご家族に挨拶をされている。		さらに、ご家族と職員の関係を深めるという点から、ご家族に職員の名前等を知ってもらえるような取り組みも検討されてみてはどうだろうか。
15	8	○ 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族会などの結成により意見、不満、苦情などが述べやすくなったと思う。又、そういうことがあった場合は真摯に受け止め会議を開き、運営に反映させていくよう努めている。		
			(外部評価) すべての職員がご家族からの相談を受けられるような体制が作られている。ご家族の代表者が家族からの意見をまとめてくださるようになっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月一回職員会議や管理者会議を実施していて職員の意見や提案を聞き、反映させている。また、職員の提案メモを運営者に提出して反映させている。		職員の構成メンバーで将来構想委員会を設けている。
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 非常勤で勤務できる職員を確保しており、状況の変化があるときは素早く連絡を取って勤務をお願いして、利用者のダメージにならないように努めている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 利用者のことを第一に考えての職員の配置にしており、退職などで人事が代わる場合も引き継ぎをしっかりと利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。 (外部評価) 法人内で職員が異動することもある。各利用者の担当者が代わるような場合も職員同士で情報を共有し、これまでと変わりなく対応できるよう努めておられる。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修委員会を設け、計画的に職員の研修をしている。外部への研修も積極的に実行している。 (外部評価) 法人の理事長が週一回来訪され、ケアについて指導をされている。また、年3回、法人主催の研修会が開催されている。全国的な研修会等にも積極的に参加をされ、研修記録等で全職員に周知がなされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			全国組織のシンポジウムやセミナーにも出席したり外部の同業者に講義をお願いしている。		
			(外部評価)		
			全国組織のシンポジウムやセミナーを通じて、他事業所とともに質の向上に向けて学んでおられる。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			休憩時間を確保できるように努めている。またチームワークを大切に常になんか楽しく働ける職場になるよう積極的に職員の意見・提案を求め環境作りに取り組んでいる。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			職員の頑張っている事を認め、勤務状況も厳しくならないように配慮している。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			入居前に本人との面接をして、本人の話を良く聞くことに努めている。また本人のホームへの訪問も自由に受け入れて不安を取り除いてもらう努力をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		○ 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) いつでも相談に応じられる体制で家族の方の思いを受け止め。親身になって話を聞くことに心がけている。		
25		○ 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 現時点でできること、できないことを相談の中から明確にして理解を求めている。		
26	12	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) すぐ入居ではなく、まずお試し利用をして頂き、徐々に本人や家族が馴染めるようにしている。 (外部評価) ワムネットの外部評価結果を参考に、入居相談に来られる方もいる。居室に空きがある場合は、利用前に事業所の生活に馴染んでいただくため宿泊することも可能となっている。法人内のデイサービスを利用されながら馴染んでいかれるようなケースもある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○ 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者が役割発揮できるように配慮し、また年長者として尊敬し職員に教えていただくという関係を築いている。 (外部評価) 職員は、利用者のこれまでの経験や生き方等、お話に耳を傾け感銘を受けたと話されていた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		○ 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族との連絡を密に取り、信頼関係を築くようにしている。各行事への参加の呼びかけ、月に一回家族への手紙で本人の近況を知らせている。又常に家族の立場になるよう努力している。		家族の会の結成で本人と一緒に支え合う関係がより深まっていくと期待している。
29		○ 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族の来訪時、本人の近況報告を常にしており、本人の誕生会もお知らせしている。		
30		○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 本人の大切な家族や友人とのつながりが途切れないよう、電話や手紙の援助をしたり、本人が以前出かけていた墓参りやなじみのスーパーに出かける支援もしている。		
31		○ 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 職員が見守りながら各役割を發揮して支え合う気持ちを持って頂いたり、気の合う者同士の散歩や買い物支援している。また歌やゲームやお菓子作りなどをして、みんなで楽しめるようにしている。		運動会や敬老会など各事業所の出し物の為の準備から一人ひとりに関わっていただき、みんなで支え合う関係を作っている。他に誕生会、バザーなど。
32		○ 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 利用終了後も家族の来訪があり、快く受け入れ一緒に過ごしていただいている。ともの家だよりの配布を続けている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意 向の把握に努めている。困難な場合は、本 人本位に検討している	(自己評価)		
			職員全員が一人ひとりの思いや意向について関心を払 い把握しようと努めている。		
			(外部評価)		
			ご本人・ご家族との話し合いの中や利用者同士で話し ておられる中からも、ご本人の思いの把握に努めてお られる。職員は、利用者一人ひとりについて関心を払 い、行動の背景等も探り把握に努めておられる。		
34		○ これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし 方、生活環境、これまでのサービス利用の 経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			入居が決定次第できるだけ早くにご家族と本人にこれ までの生活とこれからの生活に望むことを話してい ただく機会をもうけている。プライバシーに配慮しつ つ、職員が本人や家族等と馴染みの関係を築きなが ら、日々の中でこれまでの暮らしを捉えていくように 努めている。		
35		○ 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状 態、有する力等の現状を総合的に把握する ように努めている	(自己評価)		
			利用者一人ひとりの生活リズムを理解するとともに、 行動や小さな動作から感じ取り、本人の全体像を把握 するよう努めている。		ご本人のできること、できないことの記録を残してい く。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケア のあり方について、本人、家族、必要な関 係者と話し合い、それぞれの意見やアイ ディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			ご本人や御家族には日頃のかかわりの中で思いや意見 を聞き、介護計画に反映させるようにしている。アセ スメントを含め職員全員でカンファレンスを行い、介 護計画を作成している。		
			(外部評価)		
			ご家族の来訪時や遠くにお住まいのご家族とは電話で 話し合い、介護計画を作成しておられる。法人内の理 学療法士の方も話しに加わり、ご家族からの提案、意 見等を介護計画に反映できるよう取り組まれている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			状態が変化した際には職員、家族の話し合いを持ち検討、見直しをする努力をしている。ケアプランなども見直しをしている。		
			(外部評価)		
		介護計画を実践する上で、出来たこと、出来なかったことを把握し、さらに現状に即した計画となるよう見直しを行っている。			
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			個別ファイルを用意し、身体的状況及び日々の暮らしの様子や本人の言葉、エピソード等を記録している。記録を読んでから勤務に入るようにしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			デイの利用や通院等、必要な支援は柔軟に対応し、個々の満足度を高めるよう努力している。		
			(外部評価)		
		法人内のデイサービスの催しへの参加や通院、外出時の支援等を行っている。車の使用等、サービスが別料金となる場合については、ご家族に説明の上、提供されている。			

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 消防署には防災訓練や救命訓練等の指導を受けたり、各中学校の生徒との交流を図ったりしている。		本人と地域との様々な接点を見出し、周辺施設への働きかけやボランティアへの協力をこれからも積極的に行っていききたい。
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 必要に応じて介護保険外の生活支援に結びつくサービスを受けられるよう努めている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) ニヶ月に一度地域運営推進会議を行い地域包括支援センターの職員が参加するようになり、これをきっかけに関係が強化され協力関係を築いている。		
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人や御家族が希望するかかりつけ医となっている。また、受診や通院はご本人や御家族の希望に応じて対応している。 (外部評価) 利用者やご家族が希望されるかかりつけ医で受診できるよう支援されている。夜間・休日等、休診時には協力医療機関からの往診が可能となっている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) かかりつけ医と相談し、認知症専門医や精神科等受診の助言をいただいた時にはご家族と話し合い、相談・受診をおすすめしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 週に三日、非常勤の看護師が様子を見にホームに来てくれ、助言をいただいている。緊急の場合は電話連絡ですぐ対応できるようにしている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 提携している入院設備のある病院との連携あり。早期に退院できるよう、医療機関側、家族側、ホーム側との情報交換、相談はできている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 全入居者の方の方針は明確にしていらないが、一部の入居者の終末期の方針については、家族の方より伺い、スタッフ間で共有している。しかし、まだ書面には残していない状態である。		話の切り出し方がとても難しい問題ではあるが、全入居者、ご家族の意向の把握に努めたい。新しく入居される方は入居説明時にすでに入居されている方は家族懇談会にてお話をさせていただきたい。
			(外部評価) 事業所での看取りについての方針をすべての職員で共有し、今後、取り組む予定となっている。		今後、かかりつけ医・協力病院などの協力体制について、家族会等で話し合いを行なうような計画となっている。
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 重度の方(レベル低下、食事形態など)の対応は、日々全スタッフ間、主治医、家族等で話し合い、支援している。今後の変化に備えての具体的検討までは行っていないが、日々危機感を持って仕事に当たっている。		ホームでの看取りを2,3回行ってきた為、その経験を元にホームでの「できること・できないこと」を文書にまとめ、希望される方との話し合いで活用していくようにしたい。
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 住み替え前の情報交換に力を入れ、住み替えになった時のダメージが起こらないように努めた。住み替え後も時々スタッフが様子を見に行ったりし、新しい環境に慣れるまで配慮できた。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1.その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			尊重した言葉かけ、TP0を考えた対応を日々意識しながら行えている。トイレでも間違っただアを開けてしまわないよう「使用中」との紙を作成している。記録の取り扱いについても、できるだけ個人名のファイルは見えにくい棚に収納するなど配慮できている。		
			(外部評価)		
			職員は、利用者に対して声かけもやわらかく、利用者一人ひとりについて理解し接しておられる。現在、利用者は、重度の方と軽度の方と二極化している状態であるが、職員は、声かけや対応が偏らないよう心がけておられた。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			日々意識して支援している。はい、いいえでしか応えられない質問ではなく、開かれた質問をして本人の選択を大事にしている。		
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			ケアプランを基に、個々の生活ペースを守りながら、現在のその方にとっての楽しみもてる暮らしを支援している。どちらかといえば職員にお任せしますとの受け身の入居者が多いが、自己決定できる方へのお誘いはよく行い、選択できるような仕組みで支援している。		
			(外部評価)		
			利用者ご本人が毛筆で書いた小学唱歌の歌詞を見て、歌いながら手すりを持ち足踏みをされていた。利用者が書いた詩などが法人から出版されている。		重度の方5名、軽度の方4名とはっきり分かれており、全員一緒に何かをすることは難しいが、時間を少しずつずらすなどして個別対応をしていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) ご自分で身支度された後に少しフォローしたり、散髪のお誘いなども自然と声掛けできている。日々の衣類への食べこぼしもその都度衣類を更新したり、清潔感のある外見を心がけている。理容店も選んでいただいている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 毎日の日課として、食事の手伝い、味見、盛り付け、食器拭きなど少しずつたくさんの入居者に関わってもらっており、昔からの役割、女性ならではの習慣を失わないように心がけている。 (外部評価) 利用者は、食器洗いや食器拭き等、それぞれできることを率先して行っておられた。職員は、食事の好みをお聞きしたり、利用者の方同士で話されていることを職員が聞きながら食事作りに工夫をされている。		入居者全員の食の好みリストを一覧にして貼り出そうと考えている。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 体調面と相談しながらお酒の管理はこちらでという風な約束事を決めた上で、お好きな時に楽しめるよう支援している。おやつも昔の情報、現在の好みなども考慮しお勧めしている。		
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) ここ最近、以前の排泄パターンのトイレ誘導では失敗される回数が増えた方がおり、その都度見直し・話し合いをしているところである。その他の方は日々の意思の表示を見逃さないように早めの対応を心がけている。		その方の現在の排泄パターンを見直せるよう、データ収集、文責に取り組みたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 大体の方は三日おきにお誘いをして入られており、夜間入浴されている方も一名おられ、個々の入浴の方法も少しずつ変えて対応している。(歌を歌ったり、先に湯船につかったり等) (外部評価) 入浴することに対して羞恥心のある方には、歌を歌いながら入浴していただいたり、しんどいと言われる方や入浴のお嫌いな方には足湯等もすすめておられる。入浴するタイミング等に配慮し、無理強いせず、入浴していただけるよう支援されている。		現在は毎日入浴を希望されている方はおられないが、今後希望があれば身体状況を考慮して、検討していきたいと考えている。
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 寝つきの悪い人にホットミルクをお勧めしたり、散歩などの日中の活動を多くできるよう支援している。暖かな日差しの中、ソファでウトウトする時間も大切にしている。		以前に比べ、やはり身体的・精神的レベルの低下が見られる方もいるため、時間を決めてのお昼寝時間を設けていきたいと考えている。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) その方の楽しく行える役割を日々考え、現在につなげて行える事を一緒に実施できるよう働きかけている。(家事、園芸、手作業、編み物など) (外部評価) 百歳の方が縫われた雑巾を小学校に寄付されている。野菜の種を蒔き成長を楽しまれたり、ボランティアの方とともに生けた花が食卓・洗面所・トイレ・居室に飾られていた。又、手作りおやつ等も楽しみの一つとなっている。		
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 数名の方が自己管理されており、ホームで管理していても外での買い物際にはご自分で支払をしてもらっている方もいる。こちらで預かっている場合には出納帳をつけ、本人に分かりやすくしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	○ 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			毎日一人ひとりに声かけをし、近くの公園に散歩に行ったり、買い物に行ったりしている。		
			(外部評価)		
			隣にある商店での買い物や日曜日に近所で開催される市へ出かけておられる。体調等も十分に考慮し、外出を楽しめるよう支援されている。車椅子対応の車で小旅行されたり、お花見等にも出かけておられる。		
62		○ 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			本人の希望により、前に住んでいた場所までスタッフと一緒にいったり、家族と一緒に買物に行ったり、墓参りにいったりしている。		
63		○ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			電話は常にリビングにあり、いつでも使えるようにしている。手紙も自分で書いて出しにいき、きちんとやりとりができています。		
64		○ 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			訪問時間を制限しておらず、いつでも訪問していただけていると思う。訪問時にはお茶などを出し、職員も笑顔で対応している。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指 定基準における禁止の対象となる具体的 行為」を正しく理解しており、身体拘束を しないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員一人ひとりが理解し、身体拘束をしないケアをして いる。見守りは徹底しており、拘束せず事故など内容 にケアをしている。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄 関に鍵をかけることの弊害を理解してお り、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 居室や玄関には鍵をかけず、いつでもオープンにして いる。 (外部評価) 鍵を掛けないケアの実践を全職員が理解し、玄関・居 室・ウッドデッキ等を開放し、利用者の自由な暮らし が保たれていた。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しなが ら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握 し、安全に配慮している	(自己評価) 日中はリビングで過ごされることが多く、必ずリビン グには職員がおり、職員同士の情報交換も徹底してい る。夜間は二時間おきの巡回をし、物音がするとすぐ に訪室、様子を見ている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのでは なく、一人ひとりの状態に応じて、危険を 防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 仏壇の線香につける火のマッチなどは職員が管理し、 火をつけてあげるなどしている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を 防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態 に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ひやりハットや事故報告書などで記録を残し、その都 度話し合い、同じ自己が起こらないように事故原因や 分析をし今後に生かしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 消防には防災訓練や救命訓練等の指導を受けている。毎年一度応急手当の勉強会(看護師担当)を実施し体験・体得するようにしている。		4月に入り、新しい職員が入ったのでナースに応急手当・初期対応などを指導していただく(近々行う予定である)
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年に2回、消防署の指導を受け避難訓練を実施している。地域の人が集まるところに行き、地域の皆さんに協力していただける様働きかけている。 (外部評価) 2階に、「避難器具設置場所」と分かりやすく示し、避難のために滑り降りる袋(救助袋)が設置されている。近くの公園を避難場所と決め、全職員へ周知徹底がなされている。		町内会の会合に出席し、町内の自主防災組織担当者にお会いし協力について話し合いたい。 今後、さらに、災害時に地域の協力が得られるよう、取組みをすすめていかれることが期待される。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 訪問時、ご家族と充分に話し合う機会をもっている。訪問が難しい御家族には手紙を出したり電話をしたりして話し合っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 勤務者は声かけし情報を交換し申し送りを徹底している。勤務外の職員は医療情報、連絡ノート等を見て情報を共有している。看護師にも報告しそのつど見ていただいている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 看護師の指示の下、職員が内容を把握している。服薬時は本人に手渡しする場合には服用を確認している。		
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 牛乳等乳製品を使ったり、散歩や立位をとる機会を設けて自然排便を促せる工夫をしている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後ケアをしている。就寝前には義歯の洗浄を行ったり、口腔ケアが難しい人は緑茶を活用している。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事を摂ることが難しい人には食事チェック表を記入しその情報を共有している。水分もこまめに提供するように努めている。 (外部評価) できるだけ普通食を提供できるようにされている。ご本人の体調等についてすべての職員で検討し、かかりつけ医のアドバイスを受けてミキサー食とされたような事例もある。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) ヒビスコールなどで手指を清潔にしている。一人ひとりのタオルを用意している。スタッフはペーパータオルを使い感染症対策をとっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		○ 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 冷蔵庫の掃除、点検を行い賞味期限切れのものは処分している。随時日光消毒や漂白消毒をしている。		新鮮な食材、安全な食材の購入にも努めている。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○ 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関の空間作りに対し、職員がもっと意識を持って行わなければならない。		庭の犬と玄関との距離が近く、犬嫌いの人は近づき難いと思われるので工夫したい。
81	29	○ 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 分かりやすいカレンダーや季節に合った装飾物を使い意識的に工夫している。		リビングのものが雑然としているので片付けていきたい。
			(外部評価) 共用空間には、利用者、職員で手作りされたこいのぼりのちぎり絵や色紙等が飾られている。音楽が静かに流れ、天井の大きな扇風機で空気を循環するようになっていた。		
82		○ 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 入居者全員がリビングの一箇所の空間に集まる事が多く、一人ひとりの居場所作りの工夫が足りない。		二階の空間を活用し、お茶を飲んだりくつろげるような環境を作りたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 せるような工夫をしている	(自己評価)		
			たんすや仏壇を持ち込まれ、居心地良いようにしてい る。		まだできていない部屋があるので働きかけていき たい。バツ収納をもっと上手にしていきたい。
			(外部評価)		
			たんす・仏壇・掛け軸、写真等、ご本人の馴染みの ものやお好きなものが持ち込まれている。中には、馴染 みのものの少な目の居室もみられた。		今後も、ご本人ご家族と相談を重ね、しつらえや収納 等のさらなる工夫で、利用者の居心地の良さが増すよ う、取り組まれることが期待される。
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	(自己評価)		
			こまめに換気に努め、また利用者への配慮を行って いる。		消臭剤を使って臭気のある部屋は対応していく。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活 かして、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	(自己評価)		
			階段昇降機や手すり等、必要なところには身体機能を 生かした安全な環境が整えられている。		カーペットから出たコンセントに足をひっかけないよ う工夫していきたい。
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	(自己評価)		
			トイレに大きな看板をつけ、また私用しているか分か りやすくしている。		
87		○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			ウッドデッキや玄関の前庭を活用し、日向ぼっこした り、畑、花壇を作り活動できるようにしている。		

・サービスの成果に関する項目			
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 2 利用者の 2 / 3 くらいの 評価) 3 利用者の 1 / 3 くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者のニーズを把握し（買物に行きたい、酒が飲みたい、夜間入浴、畑仕事が行いたい、教会に行くなど）一人ひとりに対し適切な対応を行っている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある (自己 2 数日に 1 回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	日中、利用者がリビングに集まりこたつを囲むという家庭的な場面が多く職員、利用者が一緒に過ごす時間が毎日ある。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の 2 / 3 くらいが 評価) 3 利用者の 1 / 3 くらいが 4 ほとんどいない	自立されている4名の利用者はご自分のペースが保たれているが、重度の方5名はこちらからの働きかけが必要であり、職員は利用者の生活リズム・ペース保持に努めている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の 2 / 3 くらいが 評価) 3 利用者の 1 / 3 くらいが 4 ほとんどいない	職員は一人ひとりの個性や生活歴、趣味などを把握しており、昔話や思い出話を利用者から聞くなど、利用者の一番輝くことを引き出す支援を行い、利用者からも笑顔が多い。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の 2 / 3 くらいが 評価) 3 利用者の 1 / 3 くらいが 4 ほとんどいない	自立されている利用者は戸外へ出ることも多く、畑仕事や掃除など施設周辺で活動されている。買い物など施設から離れる際には安全面から職員が同行しきちんと対応できている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の 2 / 3 くらいが 評価) 3 利用者の 1 / 3 くらいが 4 ほとんどいない	協力病院による定期往診・受診や配薬から健康管理が保たれている。安全面では、戸外での職員同行や施設内の障害物の除去など配慮しており、職員は利用者の安全に努め見守りを常に行っている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の 2 / 3 くらいが 評価) 3 利用者の 1 / 3 くらいが 4 ほとんどいない	職員は利用者の要望にできるだけ答え、夜間入浴の実施、日曜礼拝など利用者の望んでいる生活を提供しているといえる。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	① ほぼ全ての家族と (自己 2 家族の 2 / 3 くらいと 評価) 3 家族の 1 / 3 くらいと 4 ほとんどできていない	職員は面会時などさまざまな場面で家族の声を聞き対応している。市外に在住の家族には手紙を送り、利用者の状況や様子を常に知らせている。家族も積極的でありホーム職員との信頼関係が築けている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 ほぼ毎日のように (自己 ② 数日に1回程度 評価) 3 たまに 4 ほとんどない	元職員や、他の事業所の入居者、入居者の知人などが訪ねてこれ、そのたび入居者から笑顔が見受けられる場面が多々ある。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	(自己 評価) ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない	三月から始まったアソシエール会場でのバザー、展示会で地域の方々が参加していただき盛り上がっている。定期的実施することで少しずつ地域とのかかわりが広がっていると思う。
98	職員は、生き活きと働けている	(自己 評価) ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない	毎日の生活の中で入居者と接し、かかわりをもつことで生まれる信頼関係、そこから出てくる笑顔が何よりも職員の力となり生き生きと働けている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	職員はできるだけ入居者の意見や重い、考え方を理解し、支援していくことに努め、入居者一人ひとりの生活が成り立っている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 評価) ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない	ケアプランは家族の了承のもと実施しており、家族からの意見も取り入れている。そのため、ケアプランは職員、家族がともに考え、家族も一緒に支援しているといえる。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- 御家族のかけがえのない方々をお預りしていますので、御家族がこられた時にとっても穏やかな表情を見ていただき安心していただける様心がけています。
- 本当の家族にはなれないが少しでも家族に近づくよう自分たちの親と重ね合わせ触れ合いを大切に介護させていただいている。
- 健康で寄りよい生活をしていただくため、日々研修会などを設け学習を実践に生かしている。
- 人生最後のバカンスを楽しんでいただける様、又職員も一緒に楽しみながら一日一日を大切に過ごしている。